

2020年10月28日

**2021年3月期（2020年度）第2四半期決算および
2021年3月期（2020年度）業績予想について**

当社は、本日、2021年3月期（2020年度）第2四半期（2020年4月1日～2020年9月30日）決算および2021年3月期（2020年度）業績予想についてとりまとめました。

【連結経営成績について】

当四半期は、当社において、新型コロナウイルスの影響により、業務用・産業用ともに稼働減があったことなどから、販売電力量（小売）が減少し、販売電力量（全体）は、400億kWh（前年同期比1.4%減）となりました。

これにより、売上高は、1兆380億円となり、前年同期と比べ、819億円（7.3%）の減収となりました。

なお、売上高には、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づく再エネ特措法交付金・再エネ特措法賦課金および間接オークションに伴う自己約定分等が合計2,708億円含まれておりますが、費用側にも計上されることから、収支に影響を与えるものではありません。

経常利益については、小売や卸売の販売に伴う収入が減少したものの、燃料市況を踏まえたLNGのスポット調達拡大により燃料費を低減させたことや、発電所定期点検等の実施時期の違いから修繕費が減少したことなどに加えて、燃料費調整制度のタイムラグ影響が利益を押し上げたことから、805億円となり、前年同期に比べ、160億円（24.8%）の増益となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は561億円となり、前年同期に比べ、114億円（25.6%）増加しました。

なお、当四半期における連結キャッシュ利益^{*}は1,710億円となりました。

決算の概要等については、別紙のとおりです。

以 上

- ※ 本年策定した東北電力グループの中長期ビジョンにおいて「連結キャッシュ利益」を財務目標として設定しております。（2024年度に3,200億円以上を目標）
「連結キャッシュ利益」＝ 営業利益＋減価償却費＋核燃料減損額＋持分法投資損益
（営業利益は、燃料費調整制度のタイムラグ影響を除く。）